

昨年四月から始まった今回のお遍路は、十一月に三日間で讃岐の国を廻ります。お遍路巡拝はどこから始めてもどこで終わっても構いませんので、今回からでも参加が可能です。

日時 十一月十二日～十四日

行程 六十六番～八十八番まで

宿泊 一日目 善通寺(寺宿坊)

二日目 五色台(休暇村)

料金 四万三千元以下(税込み)

行程表が出来ましたので、ご希望の方はご請求ください。料金は人数によって減額をいたします。なお、来年春三月(または四月)は一番からに戻りますのでご希望の方は一月以降にご連絡ください。

真言宗の基礎知識(その三十九)

(弘法大師)

高野山を天皇陛下より下賜されたのは八一六年で、それから整備を進め、二年後の八一八年にはお大師さまが高野山を結界され、霊地となりました。その後すぐにお大師さまは嵯峨天皇の命により京都に戻られます。それから後の約二十年の年月はお大師様もつともご活躍をされた時代です。この間、お大師さまは何度も京都と高野山を往復し、お弟子たちに高野山の堂塔建設を指示します。そのような繁忙の中、西暦八二一年に讃岐(現香川県)の満濃の池の修築を命ぜられ、難工事を僅か三ヶ月の短期間で完成されました。翌八二二年には奈良の東大寺の中に道場を建立し、真言宗の拠点とします。その翌年の八二三年正月には京都の東寺を下賜され、同年十月には真言僧侶五十人を常住させ、真言寺院にされました。翌八二四年には宮中の神泉苑で祈雨法を修され、その頃著書「十住心論」も執筆されています。八二八年にはわが国最初の庶民の教育機関「綜芸種智院」を創設されました。そして六十才を越えた八三四年に第一線を退きますが、その後にも宮中で正月に国家安寧を祈る「後七日御修法」を実現されました。すべてをなし終えて高野山にて常に座禅中心の生活を送られます。翌八三五年(承和二年)に入ると穀味を自ら絶ち、三月十五日にはお弟子を集めてご遺告をお話しされ、ついに三月二十一日深い座禅三昧に入られました。これを特に「ご入定」(ごにゆうじょう)といっています。

仏前勤行次第 改訂版 完成

上之坊の仏前勤行次第の改訂版が完成しました。内容は変わっていませんが、巻末の年忌引表が令和元年からの早見になっています。価格は原価を下回る一冊百五十円で十二月よりご希望者にお分けします。

上之坊だより

令和元年10月25日  
第85号  
福山市大門町大門325  
電話 (084) 941-1031  
fax (084) 941-1168



こう ぼう だい し せい ご しょう

弘法大師聖語抄

ゆびはし つき たい あらざ

指端は月の体に非れども

つき み かえ ゆび よ なり  
月を見るは還って指に因る也

「指は月ではないが、さし示す指先によって月を見つけないとが出来るのだ」とお大師さまはお書きになっています。

仏教の教えは難解で、なかなか根本にいたることは難しい場合が多く、特に真言密教は言葉の意味が奥深いので言葉で言い換えることが困難です。

そこで、仏さまの言葉である「真言」をそのままお経にして唱え、お経を指先にして言葉に表し尽くせない悟りの世界を求道してまいります。

お経は、お釈迦様のお弟子たちがその教えを忘れないようにまとめたものです。

教えの根本教義は変わりませんが、空での月の位置が時とともに移るように、お経は時代や国、人や場所に合わせて変化してまいりました。

現在上之坊では法事で日本語と漢文と梵語の三つの言葉を重ねて使っていますが、日本語は私達が理解できるように、そして、梵語と漢文は仏様にお伝えする為に唱えています。

上之坊宗教講座&修養「(仮称)玄冬会」お試し研修会 開催

前々号でご案内をいたしました仮称「玄冬会」ですが、一年前倒して「お試し研修会」を実施してみたいと考えます。これは、概ね六十歳(若くても構いません)以上で比較的自由時間を多く持つていらっしゃる方を対象に、仏教を通してさまざまな考えを学びあうサークルで、上之坊を会場に始めたいと考えます。今回一年は待てないという方が複数いらっしゃるため、お試し研修として実施を計画いたします。

現在考えているのは、サークルは年に二回、半日かけて研修会を開き、講座や簡単な修行をとおして実践体験をするもので、現在候補に上がっているものは、以下のようなものがあります。

- ① 仏教入門 ② 二字戒名(僧名)をつける ③ 地域と上之坊歴史探訪 ④ 阿字観瞑想(ヨガ)入門 ⑤ 御詠歌入門 ⑥ 写経や写仏、仏像彫刻や切り絵作成 ⑦ お茶・華道など
- 終活(しゅうかつ)死ぬまでにすべきこと)と生き方総点検・などですが、上之坊は場所をお貸しし、実費のみの徴収でそのつどご希望の多かったものを選んで三コマ程度行いたいと思います。今回はお試しとして①②③を実施したいと存じます。

非常にゆるやかなサークルですので、受けたいものを選んでお越しただければ結構です。場合によっては二ヶ月に一回程度開催される場合もあるかもしれませんが、出入り自由で、檀家の方に限らずどなたでも参加できるようにしたいと考えています。今回のお試し会をもとに総代会で内容や実施方法を確定してまいりたいと存じます。

尚、来年度、サークルの一環として、ご希望の方を募って得度式(お坊さんの入門式)を実施したいと考えていますので、ご興味のある方は今回または次回のご参加をお願いします。  
「(仮称)玄冬会」のお試し研修会の開催日時は下記のとおりです。

「仮称 玄冬会」  
(お試し研修会)

日時

令和元年十二月一日(日)

午後一時～四時半

場所

上之坊本堂など

会費

千円程度(茶菓子代)

内容

① 仏教入門

② 故郷と上之坊の歴史

③ お茶タイム&

四国巡礼の案内

④ 僧名・戒名について

(得度式とは何か)

・お数珠があればご持参ください。

・前日までに電話連絡をお願いします

TEL 084(941)1031

どしゃかじ 土砂加持法要のご案内 十一月九日(土)

秋も少しずつ深まってまいりました。十一月九日(土曜日)午後一時半より、近隣の住侶のご助法を仰ぎ、恒例の土砂加持法要を開筵いたします。

当日は午後一時半より御詠歌と法話、二時よりとうば供養があり、引き続き土砂加持のお勤めを四時前まで予定しております。

なお、法要で「板とうば」を造りお墓に建てたい方はお申し込みください。供養料を含めて三千元となります。

また、お墓に塔婆を建てにくい方は紙の塔婆をつくり供養を行います。供養料は千五百円です。

加持したお土砂をご希望の方は法要終了後にお分け致しますのでお残り願います。板とうば申込みの方には無料でお分け致します。またお土砂のみご希望の方には三百円のお賽銭をご用意下さい。

板とうばや供養のお申込みは別紙にてお申込み下さい。当日参加できない場合は後日の受け取りでも結構です。

なお、明年の年忌名簿については、本堂正面に土砂加持の日より掲示をいたします。

どうぞ、先祖供養をご希望の方はお参りいただきますようにご案内申し上げます。

上之坊納骨堂及び横門が完成

今年初めより計画・工事がされていました納骨堂および横門が無事完成をしました。

今年一月の総代世話方会で業者選定とご承認をいただき、認可申請や準備をして、六月十五日に納骨堂造営工事の地鎮奉告法会が行われ、六月十九日から本格着工されました。工事は順調に進み、七月十五日には納骨堂本体が完成をし、引き続き周辺の整備を七月末日まで行いました。

横門は着工式を七月二十九日に行い、八月より現場での作業が本格化いたしました。天候などで遅れもありましたが、九月からは瓦工事が行われ、十月十日に屋根及び壁・柱すべてが完成し、土間の仕上げを残すのみとなりました。早速十月二十

一日からは境内の剪定作業車が横門より入ることが出来て便利になりました。

もうしばらくは残務工事(土間のレベル合わせや納骨堂敷石の最終調整)あるいは残材の搬出なども予定されていますが、十一月九日の土砂加持法要までにはすべて完成の予定です。

なお納骨堂は十月三十一日に第一番の方が利用開始の予定となっており、十一月中に三件の納骨が予定されております。

そして、十一月からは墓地用のバケツなどの用品置場が正門内に移動いたします。

今後は納骨堂横から本堂への接続通路をどのようにするか、また合祀墓の建立についての工程など、総代会でご相談をして進めたいと存じます。

# 護摩供法会



毎月第四土曜日 午後一時半から

どうぞお参りください

開催日時

令和元年 十一月二十三日

十二月二十八日

令和二年 一月二十五日

二月二十二日

三月二十八日

四月二十五日

上之坊

九四一—一〇三一